

県産品食べ力付けて

J Aぎふなど 米や枝豆贈る



県産品を贈った山内清久会長(前列右から1人目)、岩佐哲司組合長(後列右から3人目)ら＝岐阜市則武新屋敷、県立岐阜商業高校

J Aぎふ、J A全農岐阜は3日、夏の甲子園に出場する県岐阜商業高校(岐阜市則武新屋敷)の硬式野球部に、県産米や枝豆、トマトなどの特産品を贈った。同校は9日から始まる大会中、宿舎での食材として使い、試合に備える。

J Aぎふは、県産米100キ、枝豆40キ、J A全農岐阜は、飛騨牛10キ、豚肉10キ、鶏肉20キ、郡上市産トマト6ケース、ペットボトルの美濃いび茶10ケースを用意した。

この日は、J Aぎふの岩佐哲司組合長、J A全農岐阜の山内清久会長らが同校を訪ね、村山義広校長へ目録を手渡した。岩佐組合長は「旬の枝豆で、甲子園の旬の話題となるよう活躍を」、山内会長は「県民の願いである全国優勝を期待している」などとエールを送った。村山校長は「県産品をパワーの源に、頂点を目指したい」と感謝した。

同校の夏の甲子園出場は9年ぶり29度目。

(三輪真大)